



新地町立福田小学校だより

観瀾 かんらん

No.3

2022.4.26

文責 校長

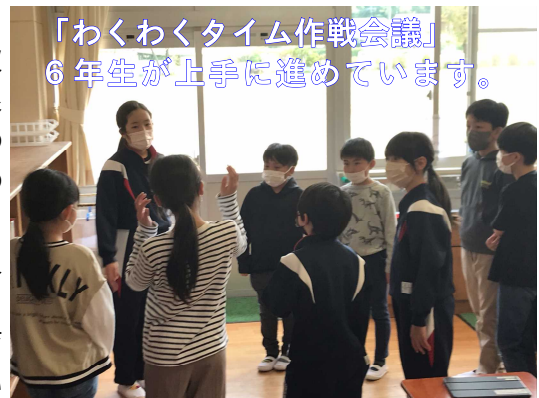
6年生の姿 と 校章の「桜の花」

令和4年度がスタートして20日余り経ちました。子どもたちは毎日元気に登校しており、校長としてうれしい限りです。それぞれのご家庭においてお子様を励まし支えてくださっていることに改めて感謝申し上げます。

さて現在、6年生が学校のリーダーとして、行事や委員会活動、登校班、休み時間など様々な場面で下級生の世話をし、下級生の手本となり、大いに活躍しています。5年生までは先頭に立つ機会はほとんどなかったと思いますが、6年生になり、最高学年としての責任を立派に果たしています。きっと昨年度の6年生の姿を見ていて「4月からは自分たちの番」という自覚を強く持っていたのでしょう。すばらしいスタートを切ることができました。今後がとても楽しみです。

先週の全校集会では、子どもたちに「校章には『桜』と『波』がデザインされ、校歌にも『桜の花のように』『波のように』という歌詞が出てきます。桜の花は見る人を良い気持ちにさせてくれます。6年生の行動は、まさに桜の花のようです。」と話しました。そして「皆さんも『桜の花』のように周りの人を良い気持ちにさせることができるように、そして『波のように』強い心で自分の弱い心に負けないようにがんばりましょう。」と話しました。

今年1年間、どんな花を咲かせるか、どんな強い心に育つか楽しみにしながら、子どもたちのがんばりを支えていきたいと思っています。



交通安全教室

先週実施した「交通安全教室」では、3年生以上は自転車の安全な乗り方について学習しました。子どもたちの運転の様子を見ましたが、公道を走ることができるまでの技能が身に付いていない子が、予想以上に多く見られました。「自転車の乗り降りには左側で」ということを知らない子もいました。

本校児童は中学校進学と同時に自転車通学となりますので、小学校のうちしっかりと運転技能を高めておく必要があります。お子さんが安全に走行できるように、この連休を利用して練習にお付き合いいただけたら幸いです。練習は、広場や空き地などで行うようお願いいたします。



福田十二神楽

5月3日の諏訪神社春の例大祭において、4年生が「福田十二神楽」を披露することになりました。福田地区の宝が4年生によって継承されうれしく思います。

例大祭に向け、4月に入ってから土曜日や日曜日などを利用して練習を重ね、舞の種類を増やしているとのこと。

4年生の凛々しい姿を楽しみに見に行きたいと思っています。ご都合がつく方はぜひ足をお運びください。

裏面に相馬医師会より届いた『2歳までのメディアの制限』提言書を掲載しました。ご一読ください。

➡ 裏面へ

2 才までTV、スマホは控えましょう！

TV やビデオ、スマホ、タブレットなどのメディアは、現代社会においては必要ですが、子どもの精神発達に悪影響を及ぼし、行動異常がおこることがあります。

— 小児科医会よりの提言「スマホに子守をさせないで」 —

1. 2 歳までのテレビ、ビデオ視聴は控えよう。
2. 授乳中、食事中のテレビ、ビデオの視聴は止めよう。
3. すべてのメディアへ接触する時間を 1 日2 時間までにしよう。
ゲームは 1 日30 分まで
4. 子ども部屋にはテレビ、ビデオ、パソコンを置かないようにしましょう。
5. 保護者と子どもでメディアを上手に利用するルールをつくろう。

《解説》

赤ちゃんは2 歳までに、人を信用する能力（愛着、アタッチメントと呼ばれています）を身につけていきます。この時期に、メディアのようなモノで遊ぶことが多くなると、人に関わる能力が育たず、小学校以降の集団生活に適應できなくなります。「スマホに子守をさせないで」はとても大切です。

子どもにとって、TV を消して保護者と一緒に食事をし、身体を使った遊びをするのはとても大切です。人との関わり方や、人とのやりとりの基本を学べるからです。保護者のTV やゲームが多い場合も、子どもと直接触れあう時間が奪われ、子どもに悪影響を与えます。

メディアの問題は、思春期の非行、不登校、引きこもりの主要な原因のひとつです。ゲームで人と繋がっても対人関係は育ちません。表情の読みとりがないからです。モノで遊ぶのではなく、人と遊ぶ楽しさを教えることが何よりの対策です。

今回は、「小学校にはいるまでにできてほしいこと」の解説です。

監修 相馬郡医師会（相馬市、新地町、南相馬市の各医師会）
横山浩之（福島県立医科大学 ふくしま子ども・女性医療支援センター教授）